

「過ぎたるは、なお及ばざるが如し」・・・度を過ぎてしまったものは、達しないものと同じで正しい道ではないとは広辞苑の説明するところですね。

マーケットも行き過ぎかどうかを判断することができれば、高値つかみや安値売りをさけるための一助となります。

ところが絶対的な答えなどなく動きまわる市場を相手に、どうすれば判断の基準をすることができるのでしょうか？

当記事では TradingView の「比較」を使って異なるマーケットを比較して、行き過ぎを見つけるヒントを取り上げてみます。

### 通貨と関連資源を比べてみる・・・原油とカナダドル

よく知られていることですが、通貨によっては特定の資源価格と強く連動します。ここでは前々回の記事で少しふれた、カナダドル(CAD)と原油とを事例に使います。

ではまず米ドル建ての CAD をチャートに載せます。銘柄欄に CADUSD と入力しましょう。すると下のような画面になります。

Fig.1



原油価格にも種類がたくさんありますが、ここでは無料版で日足よりも小さな時間足で取り出すことができる銘柄のうちから、CAD に連動しやすい「USOIL」を使ってみます。

チャートの画面から「比較」をクリックします。次に半角英数で USOIL と入力し、エンターキーを押します。日本語入力の全角では入力できませんので、その点にご注意を。

Fig.2



※ そのままだとサイズ感が合わない場合は、折れ線グラフの上で右クリックをして、「左スケール」を選択すると収まりが良くなります。

見ていくと、お互いが離れたり収縮したりしながら進んでいることがわかります。その意味については TradingView の使い方から逸れてしまうので別の機会に譲りますが、この機能は応用範囲がとても広いものです。

### オセアニア同士を比べてみる…豪ドルと NZ ドル

少し趣旨を変えて、性格の近い通貨同士…豪ドルと NZ ドルとを並べて見ましょう。ご存知の方も多いと思いますが、これら 2 国は経済的にも地理的にも関係が深いので、通貨も連動をして動いていきます。

Fig.3



こちらのチャートは、豪ドルのローソク足に NZドルを折れ線グラフで載せてみたものです。こうした比較は、誰でも無料で使うことができる機能なので、気になる銘柄同士を比較してみると良いかもしれませんね。

### 株式インデックス同士を比べてみる・・・日経平均と SP500

最後は、日経225と米国株式の代表的な指標である SP500を比べてみましょう。ここでは単純に比較して並べるだけではなく、チャートに簡単なトレンドラインを引いてみました。

Fig.4



私が2016年6月14日に TradingView へ投稿したアイディアで、日経225が 16000 円を少し切ったところでした。紫のラインが日経を支えるトレンドライン。赤色が SP500 です。オマケとして、左側の縦線は第 2 次安倍政権が始まったタイミングです。

この記事が発売される頃には、どうなっているでしょうね？チャートから見えるシナリオとしては、以下のようなところでしょうか？

- ① 日経がサポートを割り込んで 1 万円を目指し、SP500 も引っ張られ落下中
- ② サポートで買われた日経が SP500 に追いつき 2 万円を目指している

決めるのはマーケットなのでどちらになるかは分かりませんが、一つ言えるのは、いま、この原稿を書いている日に私が日経225を取引するなら、SP500と比べて売られすぎている日経を、さらに売り叩くことはしないかな？というところです。

比較チャートを使えば、こうした感覚をつかむこともできますし、何より無料ですので、読者の方はぜひ試されてみては、いかがでしょうか？

ハッピー・トレーディング！

## プロフィール

佐々木徹(ささきとおる)。欧米式のトレード方法を紹介する「ココスタ」運営責任者であり、現役トレーダー、起業家、マーケティング・ストラテジストでもある。米国テクニカルアナリスト協会公認資格 CMT 検定 1 級を保持。2000 名を超える受講生をもち、2014 年には Udemy で日本人初のトップ 15 講師入り。株式会社ファム代表取締役。

ココスタ | [cocostajp](http://cocostajp.com)